

マルシェ大原野
お買い物券
有効期限
令和2年10月31日
切りはなし無効
¥100
ナチュラルライフを持ってマルシェにお越しください!

毎週火曜日と、第1・第3土曜日は、マルシェ大原野の日

大原野の野菜・加工品の販売『マルシェ大原野』は、地域住民が中心となって運営されています。

主催/大原野農産物等直売所運営協議会



特産のナスなど夏の野菜が充実!

売り切れ次第終了

大原野農産物等直売所「マルシェ大原野」では、大原野で採れた旬の野菜や果物加工食品などを販売しています。外食自粛が続くなか、お家ごはんの材料におすすめです。品ぞろえを充実してお待ちしております。ぜひお越しください。



開催日カレンダー 営業時間 ●火曜日/9時~11時半 ●土曜日/9時~正午 会場 京都市西京区大原野灰方町179 (JA京都中央大原野支店前)

9月 1火 5土 8火 15火 19土 22火 29火 10月 3土 6火 13火 17土 20火 27火

地元ビルダーとしての役割

おのばなし



今回は私事のお話をさせてください。1998年に独立開業して22年あっという間でした。当初、小野工務店としてスタートし、会社組織に変更する際に「建築をはじめ設計もできる会社になりたい想いのもと」小野建築設計と改名させていただいた次第です。創業時から下請業はせず、顧客様から直接工事を受注し、自社設計、自社大工、自社施工にて完成まで責任をもって携わる形態を今後も続けていきたい想いであります。近年は、施主様から工事を「住宅メーカー・不動産業者・設計事務所・工務店」が請負、大工さんや下請け工務店に外注される形態が主流ですが、弊社に於きましてはこれからも自社の大工さんが施工していく形を続けていきたいと考えております。外注すると、会社としての必要経費が明確になる優位性があります。ただ、顧客様に対してきめ細やかな対応やメンテナンスに於ける迅速な動きはできなくなります。地元のビルダーとして地域の皆様のお声かけに対して迅速な動きを続けられるように自社大工施工を守っていきたくてあります。リフォームをはじめ大工さん工事は弊社得意としておりますので、今後もお声かけの程お願い申し上げます。

先月までの活動の様子



長岡京市うぐいす台モデルハウスで

「夕涼み音楽会」を開催しました

7月26日(日)に地域の方をお招きし、うぐいす台モデルハウスのプレオープンとして音楽会を開きました。モデルハウスをご覧いただいたあと、リラstringsさんのヴァイオリンを演奏していただき、赤ちゃん連れの家庭からご年配の方まで音楽の夕暮れを一緒に過ごしました。



「親子で夏の木工教室」を開催しました

8月2日(日)に毎年恒例の木工教室を開催。今年はコロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりましたが多くの親子連れにご参加いただき暑中にも負けず制作しました。皆様から頂戴した参加費は全額を地域活動への協賛金として寄付させていただきます。

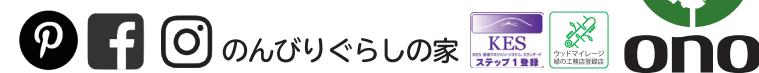
ナチュラルライフ 株式会社小野建築設計

建設業許可: 京都府知事(特-2)第33008号 宅地建物取引業者票: 京都府知事(3)第012179号
建築士事務所登録番号: 二級建築士事務所 京都府知事登録(24B)第01678号

〒610-1123 京都市西京区大原野上里南ノ町10番地

土地・お住まいの事ならお気軽にご相談下さい

TEL 075-335-2254



ナチュラルライフ vol.177 2020年9月1日発行 発行/株式会社小野建築設計

京都市西京区の土地・新築住宅
中古住宅・中古マンションをお探し
なら不動産ページへお越しください

http://www.ono-k.com

小野建築設計 検索



ホームページ
QRコード
便利です!



NATURAL LIFE

小野建築設計の地域情報レター
ナチュラルライフ

2020年 9 月号



マルシェ大原野にならぶ野菜たち。その生産者に会いに行きお話を伺っています。どんな人がどんな思いで育てておられるのでしょうか?生産者のことを知ると、野菜の向こうに深い思いが見えてきました。

今月は、早期退職し農業を専業で続けながら大原野産野菜ブランドを盛り上げようと奮闘されている向井喜明さんをご紹介します。

農場経営者 向井喜明さん

早期退職で専業農家へ

家電メーカーの半導体部門で集積回路の製造をされていた向井さん。農業の繁忙期には「朝、なすびを切って、家に置いてから出勤する」二足のわらじの生活を32年続けられました。お父様の姿を見て、いずれは農業をやりたい。と早期退職して専業農家をスタートさせました。小売りとしてマルシェ大原野や百貨店、コンビニエンスストアに大原野の野菜を置かせてもらう傍ら、「ここで儲けてしまうのではなく、お付き合いを通してファンになってほしい」と地域で作られている野菜の価値をあげてゆくためイベントの準備などで奔走されています。



畑の一部を洛西高校生にデザインしてもらい、型取りは向井さんが作った。ハートが4つ集まったクローバーの形に。向こうには定植した7種類のひまわりの苗が並ぶ。



京オクラの花が咲く。複数の部長や副代表の仕事も兼任していると収穫が遅れてしまい、あっという間に実が大きく固くなってしまう。

え!?今頃ひまわり大原野のバトンを継いで

代表を引き継いだ向井さん。今年は開花イベントも取りやめ会場も公開しない事になりました。洛西高校の生徒など多くの地域の人に協力してもらった想いもあり中止にはせず。7種類の種がどんな咲き方をするのかなど試作の活動は続けています。「来年の計画に活かせたら」と、自立に向けて準備を行っています。

生産者と地域が共存共栄でやっていけたら

高齢化がすすみ農業を継いでくれる担い手が不足しています。「このまま変わらなければ休耕田や空き家が増えてしまう」という危機感から、ひまわり大原野や、よもぎの活動、洛西口駅での野菜即売所への配送などボランティアで活動されています。「確立できたらいずれ自分達のところに返ってくる」という信念のもと、目先の利益を目指さず魅力的な町づくりに向けて取り組んでいます。そのためには個人プレイに走らず、皆でまとまれば大きな流れになるはず。住んでいる人も巻き込んでやっていけたら。と話してくださいました。

